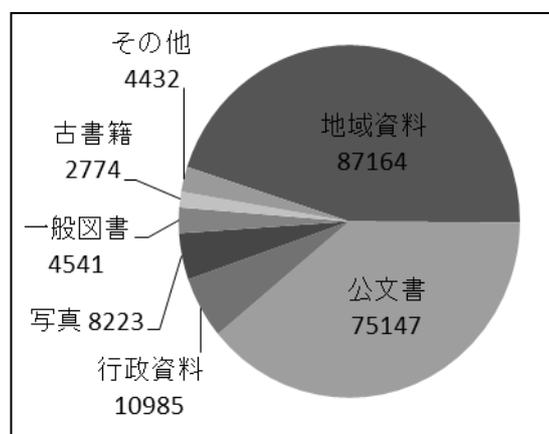


## 歴史資料の宝庫へようこそ！

磐田市歴史文書館は、県内唯一の公文書館法による公文書館として平成20年4月に開館し、この3月で6年が経過します。当館では、市内の資料を中心に19万件余の資料を所蔵していますが、市町村史の調査で収集した資料や行政機関から移管された公文書、個人のお宅から寄贈された歴史資料などから構成されています。

所蔵資料の内訳は、公文書（行政機関の資料）75,000件、地域資料（古文書等）87,000件、行政資料（行政機関が発行した資料）11,000件、写真8,000件、一般図書4,500件、古書籍2,800件、地図・絵図1,500件、統計資料1,500件、その他CD・DVDや土質標本などです。（右グラフ）



所蔵資料の内訳

当館では、所蔵資料を整理したうえで、広く市民の皆様にご利用いただいています。論文の作成や雑誌の編集など専門的な調査研究のほかに、地域や家の歴史を調べたい、地元の神社や寺院の由来が知りたい、学校の教材に使いたいなど、身近なテーマをもって気軽にご来館ください。

当館では、次の3点を目標に掲げ、多くの市民の皆様にご利用いただけるよう運営しています。

- |                 |                              |
|-----------------|------------------------------|
| 1 歴史・文化の継承      | 地域の歴史的価値ある記録を保存し、未来に伝えます     |
| 2 地域づくりのための情報発信 | まちづくりや豊かな文化創造に役立つ文書や資料を公開します |
| 3 歴史的公文書の保存と活用  | 過去の公文書を保存し、未来の行政に活かします       |

文書や資料の公開については、年2回の企画展を通じて、地元の歴史とともに紹介しています。また、



「歴史学習会」などの講演会や、「古文書解読講座」などを開いて、古文書などに親しむ機会を作っています。11月には、地元竜洋中学の生徒さんが屏風の下貼りをはがす作業を体験しました（左写真）。

当館は、どなたでも利用可能です。どんなことを調べたいのか、まず担当者にご相談ください。すでに関覧したい資料がわかっている場合には、あらかじめお知らせいただくと、来館後すぐに見ることができます。図書室内の参考図書は、自由に閲覧していただけますが、所蔵資料の閲覧や複写については、担当者に申し出てください。



# 歴史文書館で何かを見つけて！



## 夏季と冬季の「企画展」にお出かけください

歴史文書館には、地域にかかわる歴史資料がたくさん保管されています。これらの資料の中から地元ゆかりのあるテーマを選んで、夏季と冬季の年2回の「企画展」を開催しています。日ごろ見慣れた風景や知り合いの家などの思いがけない歴史や由緒に出会えるかもしれません。

### ◆◆今年度の企画展から◆◆

**「磐田の出来事と人々の暮らし」**  
(第10回 平成25年2～6月)

磐田市合併5周年の記念事業として、合併前の旧5市町村ごとに、各地の懐かしい写真等を展示しました。かつての見付の町並みや駅前商店街の風景、東海道新幹線の開通、東京オリンピックの開催な

ど時代とともに変わる人々の暮らしと地域の様子を振り返りました。4～6月は中央図書館での展示を皮切りに、旧市町村を巡回して好評を得ました。

企画展入場者	10回企画展	11回企画展
文書館展示室	217人	331人
中央図書館	380人	358人

**「暴れ川とたたかった人々  
～磐田の水害と治水～」**  
(第11回 平成25年7～9月)

天竜川と太田川の二つの大きな川に挟まれた磐田地区は、昔から洪水の被害を受け続け家や田畑を流されてきました。その被害のありさまが、年貢の減免、堤防の修復などを願い出た古文書や絵図

に残されています。当時の人々は、水防組合を作って治水対策を進めこれらの災害に対処してきました。この展示には小学生も見学に訪れ(右写真)、9月には中央図書館での展示も行われて、多くの人を訪れました。



また、8月24日には、城西大学の山下琢己准教授をお迎えして、『『暴れ天竜』とのつきあい方 ～江戸時代の水害記録と住民の“復旧力”～』というテーマで講演をしていただきました。100名の聴講者は、企画展のテーマをより一層深めることができたと思います。

**「近世からの和書 ～昔、磐田の人たちはどんな本で学んだか～」**  
(第12回 平成26年1、2月)

磐田市に寄贈された古書籍の中から、地元ゆかりのあるものを選び展示をしました。青城小学校の校名の由来となった熊谷青城が講義した内容の書き込みが残る漢籍や、学制頒布当時に浜松県の地理、歴史、経済などを七五調にまとめた教科書『遠江風土歌』、庶

民の間で盛んに詠まれた俳句を指導した地元宗匠の発句集など、磐田地域の思想や文化の形成に大きな影響を与えた和本を展示しました。(右写真)

このほか、静岡産業大学の大学祭「蒼樹祭」では、地元松岡霊社の旧蔵美術品を展示しており、昨年11月には、頼三樹三郎、藤田東湖、小野湖山、山岡鉄舟などの墨跡を紹介しました。また、企画展を開いていない時期には、「平常展」として本館所蔵の資料等を公開します。



### ◆◆来年度企画展の予定◆◆

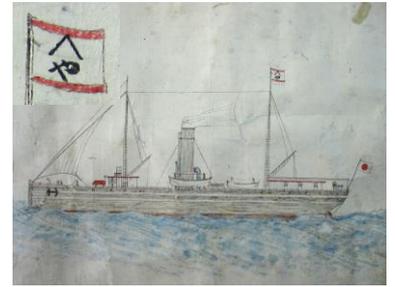
来年度は7、8月に、松岡霊社の旧蔵美術品の中から特に美術的価値の高い、絵巻「二条亭行幸之図」と手鑑「拾遺手鏡」を公開する予定です。また、来年1、2月には、「掛塚湊」に関する資料をまとめて展示する計画です。ぜひ、ご期待ください。



## またまた新発見が…！ 『福田町史資料編』が完成

今年度の町史調査の中で、環洋社の回船の絵図が初めて発見されました。左側は洋式帆船、右側は蒸気船で、ともに「ヤマヤ」の屋号の旗が見えます。帆船の旗には「遠州福田港」の文字が書かれています。

福田地域は古代から水運の拠点として栄えてきました。太田川右岸・豊浜橋北側の元島遺跡からは弥生時代から中世にかけての建物、墓、井戸などの遺構や大量の土器・陶器などが出土し、古代から遠江地域の海運の一大拠点であったことがわかりました。江戸時代には、



宝永の大地震で横須賀湊の入り口が隆起のため使えなくなると、福田湊の役割はさらに高まり「嫁に行くなら 福田の川岸へ お江戸帰りの船が着く」と歌われ、太田川や仿僧川の川岸に回船問屋が並びました。明治に入ると回船問屋は環洋社を立ち上げ、明治14年には株式会社として活動しています。

昨年8月には、近代の戦争に焦点を当てて、町史展「戦争の時代と福田の人々」を開催しました。最前線で戦っていた兵士からの手紙や多くの犠牲者が出た空襲、満州からの悲惨な逃避行など、1,630人の来場者の皆さんに大きな感銘を与えました。この展示会では、地元の方々がボランティアとして、また語り部として参加されました。また、展示と並行して開かれた町史講演会では、町史編さん専門委員長の山本義彦静岡大名誉教授が町史展と同様のテーマで講演し、126の方が聴講しました。この企画展の内容は「図録」として記録し、歴史文書館で有償頒布しています（500円）。

また、編さん事業も順調に進み、3月には『福田町史資料編VI 近世・近現代（続）』を刊行します（頒価3000円）。現在、予約を受け付けていますので、お早目にお申し込みください（3月10日締め切り）。編さん事業は平成27年度まで続き、28年3月に『福田町史 通史編』を刊行して終了の予定です。

## 地域史、自分史、家系調査などのお手伝い します！

調査研究を目的に当館を訪れ必要な資料や情報を活用した人は、今年度（12月まで）延べ169人にのびります。地域資料（古文書）や文献資料の複写が多く、展示中の資料をカメラに収める方も増えました。調査目的は家系や地域史の研究などが多く、参考となる資料をさがしたり資料の読み方を調べたりしています。その他、卒業論文の作成や雑誌の編集、全国調査の一環としてなど様々な利用があります。

当館では、所蔵資料の閲覧や複写ができます（複写は有料）。資料の検索には時間のかかることもありますので、あらかじめ、連絡をしてから来館されるとスムーズに資料を見ることができます。

### 25年度 資料の収集・保存(1月現在)

◇ 行政機関	→	搬入 (14,993件)	→	選別 (9,964件) →	廃棄等 (4,935件) 公文書 (3,826件) その他の資料 (1,203件)
◇ 個人宅	→	寄贈 (520件)	→		

歴史文書館では、地域資料の収集・保存をしていますが、受け入れは、行政機関と個人宅からの寄贈が中心です。今年度（1月まで）は、行政機関の資料約15,000件を搬入し、約10,000件を選別、約5,000件を保存しました。また、個人で寄贈された方は11人で、資料数は520件でした。豊岡地区の旧家から寄贈された文書は、江戸時代の農地や租税などに関わる帳簿類や水害関係の資料など364件にのびります。また、福井県在住の方が、掛塚（竜洋地区）の洪水に関する江戸時代の古文書1点を持参してくれました。

# 史料紹介 「乍恐以書付奉願上候」



三家村他6ヶ村の村役人が、代官所に対し、天竜川の洪水で堤防が切れ、家には水が入り、田畑は植付けもできないので、来春の堤防工事の時には最初に工事をしてほしいと願い出た書状です。

ことば  
 まんすい 満水 = 増水した状態  
 さくもう 作毛 = 農作物  
 きれしよ 切所 = 決壊箇所  
 しつけ 仕付 = 田植え、植付け

乍恐以書付奉願上候

一当五月中天竜川満水ニ而私共  
 村々堤切所罷成少々之出水ニ而も人家を  
 浸作毛之仕付も不相成難義仕候間  
 来春御普請之節者最初ニ御普請  
 被成下置候様奉願上度旨村内一同  
 申出候間乍恐此段奉願上候以上

辰十一月 三ツ家村  
 百性代 半左衛門  
 組頭 庄五郎  
 庄屋 治郎兵衛  
 (中 略)

安波卯兵衛 様  
 金原久右衛門 様

## 古文書講座

今年度は、ワークピアで5回連続の「古文書解読初級講座」を開設し、6、7月に59の方が受講しました。内容は、御定書、検地帳、年貢割付状、離縁状、往来一札、道中記、日本左衛門など、地域にかかわる興味深い内容の史料をテキストに実施しました。

**平成26年度古文書解読初級講座**

◇日程  
 前期：6月7日、14日、21日  
 後期：6月28日、7月5日、12日  
 いずれも土曜日の13：30～15：30

◇内容  
 ・さまざまな奉公人  
 ・武家と庶民  
 ・男女と親子

◇申込受付  
 4月30日から受け付け開始  
 ※定員（54人）になり次第締切ります。

来年度は、「史料に見る人間模様」をテーマに、初級向けの古文書解読と解釈を学んでいきます。なるべく多くの方が受講できるよう、3回の講義を、前・後2期に分けて実施します。内容は前・後期とも同じです。どちらかを選んでお申し込みください。

また、秋にはより上級を目指す「専修講座」を設ける予定です。初級講座を受講された方の中から、希望者を募る計画ですので、楽しみにお待ちください。

発行者：磐田市教育委員会文化財課 磐田市歴史文書館  
 住所：〒438-0292 磐田市岡 729-1  
 電話：0538 (66) 9112 FAX：0538 (66) 9722  
 Mail：[chiikishi@city.iwata.lg.jp](mailto:chiikishi@city.iwata.lg.jp)  
 休館日：土日・祝日・年末年始  
 開館時間：8：30～17：00

